

2015年度 前期

学生による授業アンケート結果

教育開発推進・高大連携委員会

目次	【概要】
1. 全体の結果	* 2015年度の授業評価アンケートは、専任教員2～4科目、非常勤講師1科目とし、先生方が選んだ科目で実施しました。
2. 科目分野別の結果	* アンケート対象授業は、受講者数が専任教員は5名以上、非常勤講師は10名以上の授業です。
3. 授業形態別の結果	* 評価は5段階評価です。(1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う)
4. 受講者数別の結果	* 前期は7月6日～7月29日に実施しました(都合によりこの期間外に実施した科目もあります)。
5. 先生のアンケートから	

1 全体の結果

分野(基礎科目や基幹科目など)、授業形態(講義系や演習系、実習など)、人数などが異なる授業全ての科目を集計した平均値です。

①実施科目数 117科目

②質問項目別に見る平均

【表1】

設 問	平均
学生自己評価について	4.03
1.私は、私語・飲食・携帯電話の使用を慎み適切な態度で授業に出席した	4.15
2.私は、この授業に対し意欲的に取り組んだ(熱心な授業態度、予習・復習をするなど)	3.91
授業について	4.17
3.授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	4.22
4.成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	4.18
5.授業時間はだいたいにおいて守られていた(開始時間・終了時間)	4.36
6.教員の声や言葉は聞き取りやすかった	4.27
7.授業で使用した教材(教科書・資料等)は授業内容の理解に役立った	4.20
8.教員の板書やパワーポイント等は分かりやすかった	3.92
9.この授業の進め方及び内容は適切であった	4.12
10.課題の内容は学習に役立った	4.11
11.教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた	4.35
12.教員は学習に適した環境で受講できるよう努めていた(私語・居眠り・学生の出入り・携帯電話への注意など)	4.08
13.学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	4.17
14.教員は学生の質問や発言に対し適切に対応した(授業外も含む)	4.27
15.この授業がテーマとする分野への問題意識や関心が深まった	4.13
16.この授業に満足し、後輩や友人に勧めたいと思う	4.08
環境について	4.36
17.教室の広さは適切であった	4.37
18.机や椅子の配置は適切であった	4.34
19.廊下や隣接する教室など、教室外からの騒音は特に気にならなかった	4.37

2 科目分野別の結果

*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「情報」「外国語」等

①実施科目

【表2-1】

科目分野	実施数	実施科目
基礎科目:文献講読演習	3	文献講読基礎
基礎科目:日本語科目	2	日本語表現法 I
基礎科目:英語科目	5	English Reading I/English Communication I/English Reading III
基礎科目:外国語(英語以外)	1	韓国語 I
基礎科目:情報文献	3	情報処理リテラシー
基礎科目:スポーツ・保健	6	スポーツ文化論/心と身体健康学/生涯スポーツ I/生涯スポーツ II/
基礎科目:現代教養	7	福祉文化論/法学/数学の基礎/女性学入門/人文地理学/心理学 I/経済学
基幹科目	78	社会学 I/比較文化研究(長崎と西欧文化)/日本の宗教/比較文化研究(長崎とキリシタン文化)/地域文化研究(アジア文化論)/西洋の思想/キリスト教文化史/外国語演習 I/地域文化(日本)研究序説/相談援助の基盤と専門職 I/高齢者に対する支援と介護保険制度 I/老人ソーシャルワーク論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I/認知症の理解 II/バリア・フリー・デザイン・コミュニケーション入門/プログラミング演習 I/TOEIC I/英語情報データベース/英米文学入門 I/障害の理解 II/自然地理学 I/障害ソーシャルワーク論/地域研究特講(長崎と近代化)/マーケティング I/数量と図形の理解/保健医療サービス/ジェンダー論/比較教育/医学一般 I/地域文化研究特論/福祉人権論/教育の基礎理論/教職論/音楽基礎理論 I/児童教育法/教育原理/保育者論/社会福祉/社会的養護/児童家庭福祉/家政学概論/生涯発達心理学 II/心理学入門 I/臨床心理学 I/児童臨床心理学/心理学研究法/人間心理学 I/産業・組織心理学/生活支援技術B/生活支援技術E/English Seminar III/英文講読 I/English Seminar I/障害者保育/英文講読 I/子どもの音楽 II/造形表現法/音楽表現法/子どもと人間関係/発達と学習の心理学 II/保育内容総論/発達と学習の心理学 II/子どもと人間関係/保育内容総論/造形表現法/器楽/子どもと環境 I/データベース演習/データベース演習/児童英語/Public Speaking/保育実習指導 I
資格・免許に関する科目	9	教育指導の研究 II/社会科教育法/情報メディアの活用/学習指導と学校図書館/博物館資料論/図書館制度・経営論/図書館概論/社会科教育法/日本語教授法実習 II

②質問項目別に見る平均

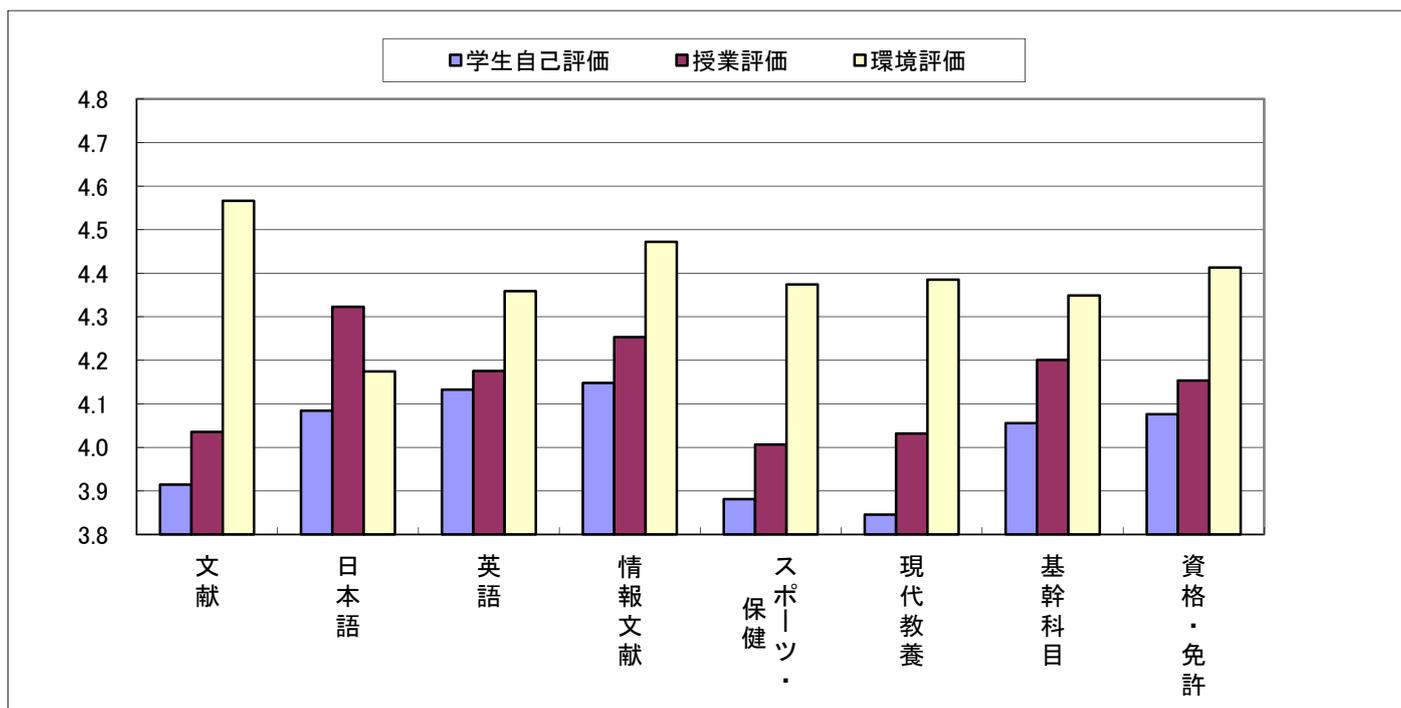
【表2-2】

設問内容※		基礎科目						基幹科目	資格免許
		文献	日本語	英語	情報文献	スポーツ・保健	現代教養		
学生自己評価	平均	3.91	4.08	4.13	4.15	3.88	3.85	4.06	4.08
1.適切な態度		4.17	4.22	4.27	4.10	4.00	3.91	4.19	4.20
2.意欲的な取り組み		3.66	3.95	4.00	4.20	3.76	3.78	3.93	3.95
授業への評価	平均	4.04	4.32	4.18	4.25	4.01	4.03	4.20	4.15
3.シラバスの授業への反映		3.85	4.36	4.16	4.21	4.18	4.09	4.24	4.23
4.成績評価基準の明示		4.08	4.40	4.01	4.33	4.01	4.16	4.20	4.05
5.授業時間を守る		4.10	4.56	4.53	4.39	4.34	4.35	4.35	4.28
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.29	4.35	4.35	4.26	4.15	4.11	4.29	4.16
7.教材が理解に役立った		3.93	4.46	4.22	4.15	3.95	3.99	4.24	4.19
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.69	4.12	3.89	4.14	3.66	3.66	3.97	3.95
9.進め方と内容の適切さ		3.95	4.39	4.23	4.23	4.00	3.93	4.13	4.13
10.課題の内容は学習に役立った		4.04	4.48	4.06	4.45	3.86	3.83	4.14	4.14
11.教員の熱意が感じられた		4.12	4.38	4.42	4.27	4.20	4.24	4.37	4.40
12.適切な学習環境の保持		3.93	4.23	4.17	4.12	3.86	3.84	4.11	4.10
13.学生の努力の公正な評価		4.15	4.38	4.15	4.25	4.01	4.02	4.19	4.14
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.40	4.37	4.39	4.31	4.10	4.24	4.28	4.17
15.問題意識・関心が深まり		4.10	4.07	3.91	4.27	3.92	3.99	4.18	4.16
16.後輩や友人に勧めたい		3.88	3.96	3.98	4.16	3.86	3.98	4.12	4.06
環境への評価	平均	4.57	4.17	4.36	4.47	4.37	4.39	4.35	4.41
17.教室の広さの適切さ		4.72	4.33	4.48	4.54	4.36	4.37	4.35	4.44
18.机・椅子の配置の適切さ		4.72	4.38	4.46	4.53	4.33	4.32	4.32	4.45
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.26	3.81	4.13	4.34	4.43	4.47	4.38	4.35

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③各分野の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ1】



*「文献」と「情報文献」は環境についてが特に高いことが伺えます。

3 授業形態別の結果

- * 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものです。
- * 授業形態は担当教員の届出によります。

①実施科目

【表3-1】

授業形態	実施数	実施科目
講義系	78	文献講読基礎/日本語表現法 I /English Reading I /English Communication I /韓国語 I /情報処理リテラシー/情報処理リテラシー/スポーツ文化論/心と身体の健康学/福祉文化論/法学/数学の基礎/女性学入門/人文地理学/心理学 I /経済学/社会学 I /比較文化研究(長崎と西欧文化)/日本の宗教/比較文化研究(長崎とキリスト文化)/地域文化研究(アジア文化論)/西洋の思想/キリスト教文化史/外国語演習 I /地域文化(日本)研究序説/相談援助の基礎と専門職 I /高齢者に対する支援と介護保険制度 I /老人ソーシャルワーク論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I /認知症の理解 II /バリア・フリー・デザイン/コミュニケーション入門/プログラミング演習 I / TOEIC I /英語情報データベース/英米文学入門 I /障害の理解 II /自然地理学 I /障害ソーシャルワーク論/地域研究特講(長崎と近代化)/マーケティング論 I /数量と図形の理解/福祉レクリエーション論/保健医療サービス/ジェンダー論/比較教育/医学一般 I /地域文化研究特論/福祉人権論/教育の基礎理論/教職論/音楽基礎理論 I /児童教育法/教育原理/保育者論/社会福祉/社会的養護/児童家庭福祉/家政学概論/生涯発達心理学 II /心理学入門 I /臨床心理学 I /児童臨床心理学/心理学研究法 /人間心理学 I /産業・組織心理学/教育指導の研究 II /社会科教育法/情報メディアの活用/学習指導と学校図書館/博物館資料論/図書館制度・経営論/図書館概論/社会科教育法
演習系	26	文献講読基礎/English Reading III 生活支援技術B/生活支援技術E/ English Seminar III /英文講読 I /English Seminar I /障害者保育/障害者保育/英文講読 I /子どもの音楽 II /造形表現法/音楽表現法/子どもと人間関係/発達と学習の心理学 II /保育内容総論/発達と学習の心理学 II /子どもと人間関係/保育内容総論/造形表現法/器楽/子どもと環境 I /データベース演習
実技系	8	English Communication I /生涯スポーツ I /生涯スポーツ II /児童英語/Public Speaking/ English Seminar I

②質問項目別に見る平均

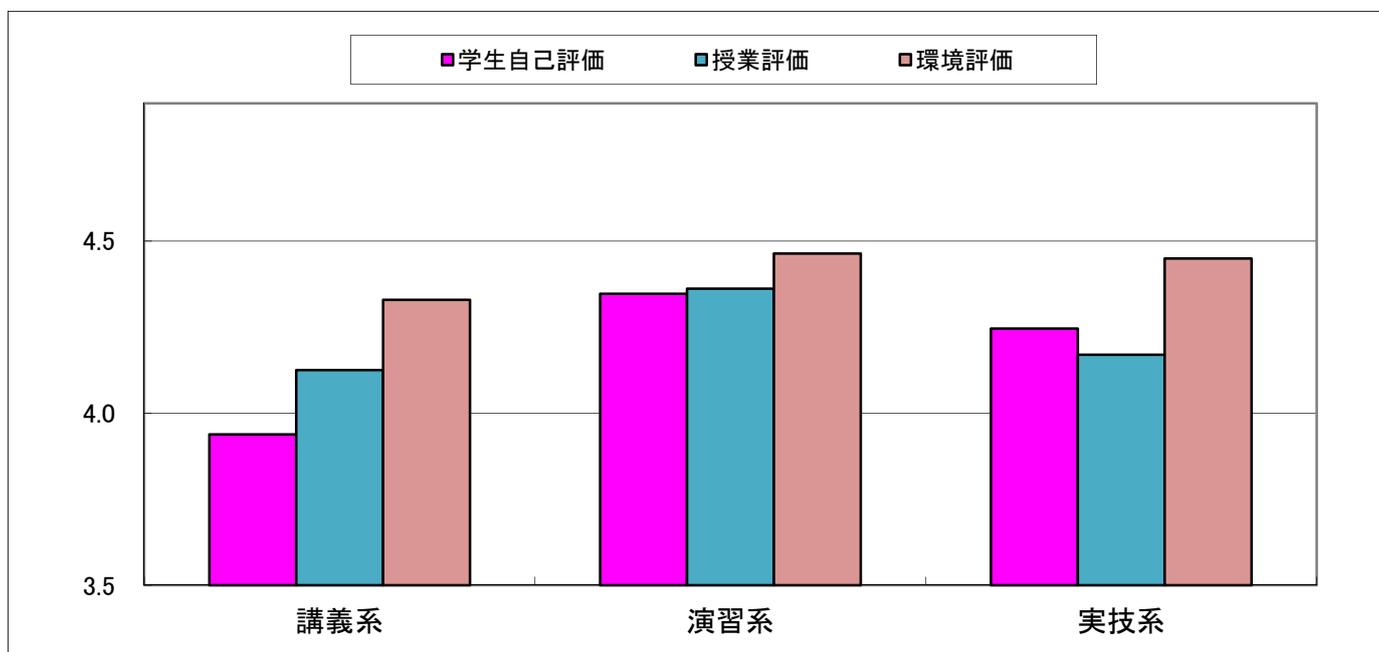
【表3-2】

設問内容※		講義系	演習系	実技系
学生自己評価	平均	3.94	4.35	4.25
1.適切な態度		4.07	4.45	4.25
2.意欲的な取り組み		3.81	4.25	4.24
授業への評価	平均	4.13	4.36	4.17
3.シラバスの授業への反映		4.18	4.36	4.26
4.成績評価基準の明示		4.16	4.29	3.98
5.授業時間を守る		4.36	4.40	4.16
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.22	4.47	4.17
7.教材が理解に役立った		4.15	4.38	4.09
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.86	4.14	4.03
9.進め方と内容の適切さ		4.07	4.28	4.18
10.課題の内容は学習に役立った		4.04	4.36	4.12
11.教員の熱意が感じられた		4.30	4.50	4.38
12.適切な学習環境の保持		3.99	4.35	4.30
13.学生の努力の公正な評価		4.12	4.35	4.17
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.21	4.47	4.33
15.問題意識・関心が深まり		4.08	4.36	4.10
16.後輩や友人に勧めたい		4.01	4.33	4.10
環境への評価	平均	4.33	4.46	4.45
17.教室の広さの適切さ		4.33	4.51	4.47
18.机・椅子の配置の適切さ		4.31	4.47	4.42
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.36	4.41	4.46

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③各授業形態の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ3】



*「演習系」は全ての評価領域において高い評価となっています。

4 受講者数別での結果

①実施科目

【表4-1】

受講者数	実施数	実施科目
20名以下	33	文献講読基礎/数学の基礎//データベース演習/社会科教育法/専攻演習 I /生活支援技術B/情報メディアの活用/地域文化研究(アジア文化論)/地域研究特講(長崎と近代化)/生活支援技術E/自然地理学 I /障害ソーシャルワーク論/バリア・フリー・デザイン/英米文学入門 I /博物館資料論/福祉人権論/Public Speaking/学習指導と学校図書館/日本語教授法実習 II /English Seminar III/English Seminar I /英文講読 I /保育実習指導 I /社会科教育法/教育指導の研究 II /認知症の理解 II /英文講読 I /プログラミング演習 I
21名以上50名以下	54	情報処理リテラシー/生涯スポーツ II /English Communication I /韓国語 I /生涯スポーツ I /English Reading I /English Reading I /情報処理リテラシー/スポーツ文化論/日本語表現法 I /English Reading III/福祉文化論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I /障害の理解 II /日本の宗教/外国語演習 I /教職論/保育内容総論/老人ソーシャルワーク論/音楽表現法/英語情報データベース/教育原理/家政学概論/器楽/西洋の思想/コミュニケーション入門/地域文化研究特論/ジェンダー論/キリスト教文化史/障害者保育/造形表現法/比較文化研究(長崎と西欧文化)/比較教育/障害者保育/子どもと環境 I /TOEIC I /子どもと人間関係/比較文化研究(長崎とキリタン文化)/発達と学習の心理学 II /図書館制度・経営論/数量と図形の理解/発達と学習の心理学 II /児童臨床心理学/マーケティング論 I /保育内容総論/相談援助の基盤と専門職 I
51名以上100名以下	20	心理学 I /経済学/地域文化(日本)研究序説/児童英語/保健医療サービス/造形表現法/心理学入門 I /福祉レクリエーション論/臨床心理学 I /図書館概論/人間心理学 I /心理学研究法/産業・組織心理学/医学一般 I /高齢者に対する支援と介護保険制度 I /生涯発達心理学 II /子どもと人間関係/児童家庭福祉/社会学 I /社会的養護
101名以上	10	人文地理学/法学/女性学入門/心と身体/健康学/社会福祉/子どもの音楽 II /児童教育法/音楽基礎理論 I /保育者論/教育の基礎理論

②質問項目別に見る平均

【表4-2】

設問内容※		20名以下	21名以上50名以下	51名以上100名以下	101名以上
学生自己評価	平均	4.25	4.17	3.90	3.90
1.適切な態度		4.38	4.27	4.01	4.04
2.意欲的な取り組み		4.11	4.06	3.79	3.75
授業への評価	平均	4.32	4.25	4.12	4.06
3.シラバスの授業への反映		4.30	4.28	4.15	4.17
4.成績評価基準の明示		4.29	4.22	4.10	4.17
5.授業時間を守る		4.40	4.39	4.35	4.31
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.39	4.36	4.22	4.14
7.教材が理解に役立った		4.37	4.26	4.16	4.09
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		4.11	4.07	3.94	3.63
9.進め方と内容の適切さ		4.27	4.22	4.08	3.95
10.課題の内容は学習に役立った		4.31	4.21	4.04	3.96
11.教員の熱意が感じられた		4.43	4.43	4.28	4.27
12.適切な学習環境の保持		4.28	4.18	3.97	3.97
13.学生の努力の公正な評価		4.32	4.25	4.11	4.05
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.45	4.35	4.18	4.18
15.問題意識・関心が深まり		4.29	4.20	4.11	4.02
16.後輩や友人に勧めたい		4.20	4.13	4.06	3.97
環境への評価	平均	4.45	4.38	4.32	4.36
17.教室の広さの適切さ		4.49	4.41	4.28	4.37
18.机・椅子の配置の適切さ		4.48	4.41	4.29	4.25
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.36	4.32	4.39	4.45

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③受講者数別の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

